

降下性壊死性縦隔炎の治療に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：平成 30 年 6 月 20 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日

〔研究課題〕 降下性壊死性縦隔炎の発生と治療法および予後に関する観察研究

〔研究目的〕

降下性壊死性縦隔炎とは、菌原性や口腔内感染症や咽頭膿瘍などの深頸部の感染症が筋膜間隙や気管周囲間隙に沿って、肺の間(縦隔)へ進展する重篤かつ難治性の感染症で、致死率の高い疾患です。降下性壊死性縦隔炎の病態、診断に至る経過、治療方法、ドレナージの方法の詳細、予後などについて、学会の認定施設より情報を収集し、治療方法や治療成績の検証を行い、本疾患における発生原因、治療効果予測因子や予後予測因子を解析します。

〔研究意義〕

これからの標準治療の確立のための基礎データを構築することでより良い治療ガイドラインを検討できるようになります。

〔対象・研究方法〕 本院におきまして、既に降下性壊死性縦隔炎の治療を受けられた患者さんの診療記録(情報:画像診断情報、初発症状、起因菌、感染経路等)を使用させていただきます。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部附属病院

〔個人情報の取り扱い〕 診療情報については論文発表後 10 年間の保存を基本としており、保存期間終了後は、紙媒体の診療情報についてはシュレッダーにて廃棄、パソコンなどに保存している電子データは復元できないように完全に削除します。

〔その他〕

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 山内良兼
住所: 東京都板橋区加賀2-11-1
TEL: 03 3964 1211(代表)